

官報

號外 昭和十六年二月四日

第七十六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第八號

昭和十六年二月三日(月曜日)午前十時五分開議

議事日程第八號

昭和十六年二月三日

午前十時開議

第一 民事訴訟法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 陪審法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第四 商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

〔白木書記官朗讀〕

去月三十一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

民法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

戶籍法中改正法律案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十六回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

内務省所管事務政府委員

内務書記官 齋藤 昇君

北海道廳部長 鈴木 脩藏君

大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 秋元 順朝君

營繕管財局理事 入江 昂君

逓信省所管事務政府委員

電氣廳部長 田倉 八郎君

同 森 秀君

一昨一日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

借地法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵秋月 種英君

副委員長 男爵渡邊 修二君

商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案特別委員會

委員長 公爵山縣 有道君

副委員長 伍堂 卓雄君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案可決報告書

昨二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和十六年度歳入歳出總豫算案並昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

陸軍軍法會議法中改正法律案

海軍軍法會議法中改正法律案

郵便貯金法中改正法律案

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付御諮ヲ致シマス、男爵阪谷芳郎君、男爵郷誠之助君、何レモ病氣ニ付八日間、佐藤三吉君、病氣ニ付會期中、請暇ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 去ル一日、豫算委員光行次郎君ヨリ、又本日豫算委員子爵大久保立君ヨリ、何レモ病氣ニ付委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

メマス、就キマシテハ光行君選出ノ第二部、及大久保子爵選出ノ第五部ニ於テ各、其ノ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 此ノ際大藏大臣ヨリ發言ヲ求メラレマシタ、許可ヲ致シマス、河田大藏大臣

〔國務大臣河田烈君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(河田烈君) 茲ニ昭和十六年度歳入歳出豫算ノ大要、竝ニ現下ノ我が國經濟界ノ狀況ニ付キマシテ説明致シマスコトハ、私ノ最モ光榮トスル所デゴザイマス、我が肇國ノ大精神ニ則リ、東亞永遠ノ安定ヲ確保セムガ爲ニハ、前途ニ尙幾多ノ困難ガ豫測セラレルノデゴザイマシテ、此ノ目的ヲ貫徹致シマスルニハ、更ニ億兆一心、時艱ノ克服ニ邁進セネバナラヌコトハ申上グル迄モナイ次第デゴザイマス、殊ニ複雑微妙ナル最近ノ國際情勢ノ下ニ於キマシテハ、速カニ高度國防國家體制ヲ完成シ、毅然トシテ之ニ對處シ得ルヤウ其ノ體制ヲ整フルコトガ、刻下ノ喫緊ノ要務ト存ジマス、我が財政經濟ノ運行ニ當リマシテモ、之ニ即應シ、綜合經濟力ノ遺憾ナキ活用ニ依リ、軍備ノ充實、生産力ノ擴充、戰時國民生活ノ維持安定等ヲ圖ルヲ以テ、其ノ根本方針ト爲サネバナラヌト信ジマス、先ツ初メニ當リマシテ、昨年中ニ於ケル我が國經濟界ノ狀況ヲ申上ゲタイト存ジマス、上半期ニ於キマシテハ、概ネ順調ナル推移ヲ迪シテ

參リマシタ、然ルニ下半期ニ至リマシテハ、

主トシテ國際情勢ノ緊迫化ニ伴ヒマシテ、國內經濟界ニモ若干ノ影響ヲ免レナカッタノデゴザイマスガ、幸ニシテ政府ノ對策ト國民ノ協力トニ依リマシテ、事ナク越年致シテ次第デゴザイマス、金融市場ニ於キマシテハ、資金ノ蓄積並ニ運用ハ大體圓滑ニ行ハレ、金融界ノ狀況ハ概ネ靜穩デゴザイマシタガ、唯昨年下半年ニ於キマシテ、一時稍、金融ノ窮乏ヲ感シタ時ガゴザイマシタ、之ガ原因ハ、生産力擴充其ノ他ノ大口資金ノ需要ガ旺盛ナリシニ拘ラズ、銀行豫金ノ増加ガ之ニ稍、伴ハナカッタコト、政府資金ノ撒布超過ガ比較的少額デゴザイマシタコト等ニ在リト考ヘラレルノデゴザイマスガ、又一方、國際關係ノ緊迫ニ伴ヒマシテ、經濟界ノ一部ニ過度ノ警戒心理ガ作用シテ居タコトモ亦否定シ難イ所デゴザイマス、之ニ對シマシテハ、政府ノ支拂ヲ促進シ、或ハ預金部資金ヲ放出シ、或ハ公社債ノ發行及消化ヲ一層計畫化スル等、各種ノ方策ヲ講ジタノデゴザイマスガ、特ニ年末ニ於キマシテハ、相當多額ノ政府資金ノ撒布ヲ見マシタノデ、金融界ハ平穩裡ニ越年致シマシタ、其ノ後モ引續キ順調ナル經過ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、資金ノ蓄積ニ付キマシテハ、國民貯蓄獎勵運動ニ對スル國民ノ全面的協力ニ依リ、概シテ良好ナ結果ヲ示シタノデゴザイマス、即チ昨年中ニ於テ、郵便貯金ハ十七億二千餘萬圓ヲ増加シ、又銀行預金ノ増勢ハ前申上ゲマシタ通り一時稍、鈍化シタカノ如ク見エタノデ

ゴザイマシタガ、結局ニ於テ六十億九千八百餘萬圓ノ増加ト相成シタノデアリマス、從ツテ昨年中ニ於ケル公債發行額ハ六十六億六千七百餘萬圓ニ達シ、一面ニ於テ生産力擴充資金ノ需要ガ旺盛デアリマシタニモ拘ラズ、同年中ニ五十二億四千餘萬圓ヲ消化シタノデゴザイマシテ、之ヲ一昨年中ノ消化額ニ比較致シマスレバ、五億三千餘萬圓ノ増加トナルノデゴザイマス、尙昨年中ニ於ケル起債市場ノ新規社債發行額ハ、總額二十八億二千九百餘萬圓ニ達シ、又貯蓄債券及報國債券ノ賣上金額ハ三億五千萬圓ニ上ツタノデゴザイマス、又昨年中ノ兌換銀行券ノ平均發行高ハ三十三億三千六百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ一昨年中ノ平均發行高ニ比ベマスト、約九億六千萬圓ノ増加デゴザイマス、而シテ其ノ年末ノ最高發行高ハ四十九億三千餘萬圓ニ達シタノデアリマスガ、越年後ニ於ケル收縮狀態ハ極メテ良好デゴザイマス、經濟ノ規模ガ逐年擴大シ、又取引方法モ變化シツ、アル現狀ニ於キマシテハ、或程度ノ増加ハ已ムヲ得ナイ所ト認メラレルノデゴザイマスガ、政府ト致シマシテハ、消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵、其ノ他物資並ニ資金ノ需給調整等、各種ノ方策ノ徹底ヲ圖リ、過度ノ膨脹阻止ニ努メタノデアリマシテ、此ノ點ニ關シマシテハ將來共一段ノ努力ヲ拂ヒタイト存ジテ居リマス、次ニ昨年中ニ於ケル我が國ノ貿易狀態ヲ申上ゲマス、昨年中ニ於ケル我が國ノ外國貿易ハ、輸出ハ三十九億七千二百餘萬圓、輸入

ハ三十七億九百餘萬圓、差引二億六千三百餘萬圓ノ輸出超過トナツタノデアリマス、之ヲ一昨年ノ實績ト比較致シマスルニ、輸出ニ於テ一分、輸入ニ於テ一割九分ヲ、ソレゾレ増加シテ居ルノデアリマス、而シテ滿支方面トノ貿易ハ、輸出入共健全ナル發展ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、第三國ニ對スル輸出ハ、一昨年ト略、同程度デアッタノデアリマス、歐洲戰亂ノ勃發以來、各國ノ爲替及貿易管理ハ次第ニ強化セラレマシテ、又輸送ノ危險ハ刻々増大スル等、種々ノ障礙ガアリマシタニモ拘ラズ、右ノ如キ成績ヲ擧ゲ得マシタコトハ、邦家ノ爲御同慶ニ存ズル次第デアリマス、併シナガラ最近ノ國際情勢ニ顧ミマスルトキハ、我が國ノ貿易ノ前途ハ決シテ樂觀ヲ許サナイノデゴザイマス、故ニ今後ニ於テモ、必需物資ノ輸入力増強ノ爲ニハ、益、第三國向輸出ノ振興ヲ圖ルト共ニ、本邦爲替資金ヲ充實致シマシテ、之ガ活用保全ニ努ムルコトガ緊要ナル所ト認メマス、而シテ政府ハ之ガ爲必要ナル有ラユル措置ヲ講ジテ參ル心算デゴザイマス、從來行ヒ來レル金ノ増産及集中政策ニ付キマシテモ、尙一段ノ措置ヲ講ジマシテ、輸入力ノ増強ニ資シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、我が國ノ爲替相場ハ、事變勃發以來終始安定ヲ保持シ、一昨年本邦爲替相場ノ基準ヲ英貨ヨリ米貨ニ變更シタル後ニ於キマシテモ、引續キ之ガ安定ヲ得テ居ルノデアリマシテ、今後モ亦此ノ水準ヲ維持スル方針デゴザイマス、尙從來我

我が國ノ爲替資金操作ハ英米兩市場ヲ決濟ノ中心トシテ參ツタノデゴザイマスガ、最近ハ相手國トノ直接決濟ニ移行シツ、アルノデアリマス、今後ニ於キマシテハ、更ニ一歩進メテ圓ヲ中心トスル決濟ヲ普及セシメムトスル心算デゴザイマスガ、本邦通貨タル圓ガ國際決濟ニ使用セラレル局面ノ擴大致シマスコトハ、我が國對外交易ノ増進上裨益スル所尠カラザルモノアルノミナラズ、我が國ノ國際經濟的地位ノ昂揚ニモ貢獻スル所大ナルモノアリト信ズルモノデゴザイマス、次ニ最近ニ於ケル國際情勢ノ轉移ハ、我が國內經濟界、就中物資供給ノ方面ニ對カラス影響ヲ齎スコトナツタノデアリマス、然ルニ軍備ノ充實及生産力ノ擴充ハ、一日モ之ヲ忽セニスルコトガ出來ナイ次第デアリマス、之ニ必要ナル物資ハ出來得ル限り確保セネバナラスノデゴザイマス、其ノ爲ニ一般ノ物資ノ供給ハ窮屈トナラザルヲ得ナイノデアリマス、是ガ對策ト致シマシテハ、可及的ニ物資輸入先ノ轉換ヲ圖リ、特ニ日滿支ヲ中核トスル大東亞共榮圈內ニ於ケル自給體制ノ確立ニ努メマス同時ニ、國內物資ノ節用及ビ回收等ニ力ヲ致シマシテ、極力物資供給力ノ増強ヲ圖ラナケレバナラスノデゴザイマス、併シナガラ一時的ニハ官需及ビ民需等ニ對スル供給ハ、減少致シマシテ、其ノ結果生活必需品ニモ影響ヲ及シマシテ、國民ノ消費生活ハ或程度不自由トナルコトヲ免レスノデアリマスガ、政府ハ低物價ノ維持ニ努メマスルト共ニ、最低

限度ノ供給量ハ必ズ之ヲ確保スルヤウ適當ナル對策ヲ講ジマシテ、以テ戰時國民生活ノ安定ニ遺憾ナキヲ期スル心算デゴザイマス、斯カル情勢ノ下ニ於テ、我が財政經濟ノ運營ヲ完カラシムルニ當リマシテハ、須ク物資、資金、勞務等ノ全般ニ互リ、綜合的計畫ヲ樹立實行スルコトヲ要スルノデゴザイマスガ、是ガ爲各種ノ經濟統制ガ強化セラレベキコトハ免レ難イ所デアリマス、而シテ是ガ爲ニ生ズル一時的ノ苦痛ハ、國民ガ一體トナリ不退轉ノ決意ヲ以テ之ニ對處スレバ必ズヤ克服シ得ベキモノデアルト確信スル次第デゴザイマス、徒ニ前途ニ疑惑ヲ懷キ萎縮退嬰ヲ事トスルガ如キコトハ、斷ジテ之ヲ避ケナケレバナラヌコトト信ジマス、以上申述べタルガ如キ經濟界ノ諸情勢ノ下ニ、政府ハ昭和十六年度豫算編成ニ當リタ次第デゴザイマシテ、如上ノ情勢ニ鑑ミ、經濟界ノ推移ニ對シ慎重ナル考慮ヲ拂ヒツ、而モ艱般ノ施策ニ當リ消極ニ墮スルコトナキヤウ留意シタノデゴザイマス、一般經濟狀況ノ説明ハ以上ヲ以テ終リマシテ、是ヨリ昭和十六年度豫算ノ内容ニ付キマシテ、其ノ大體ヲ説明致シマス、昭和十六年度歳入歳出總豫算ノ金額ハ、歳入歳出共ニ六十八億六千三百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマスレバ、七億六千五百餘萬圓ヲ増加致シテ居リマス、先ヅ歳出豫算ノ方面カラ説明致シマス、昭和十六年度豫算ハ國際情勢ノ推移ニ備ヘマシテ、事變處理ノ完遂ヲ期スルト共ニ、戰

時財政經濟ノ強化ヲ圖ル爲、國家諸般ノ施設ヲシテ一層戰時體制ニ即應セシムルノ趣旨ヲ以テマシテ之ヲ編成シタノデアリマシテ、高度國防國家體制ノ完成ノ爲緊要缺クベカラザル施設ヲ遂行ヲ期シ、他面所謂金ト物トノ調和ニ意ヲ用ヒマシテ、豫算ニ伴フ重要物資ニ付テハ、出來得ル限り物資需給計畫ニ適合セシムルコトニ努メタノデアリマス、之ガ爲ニ爾餘ノ施設ニ付キマシテハ、此ノ際眞ニ強行ノ要アルモノノ外ハ、之ガ著手ヲ見合ハセルコトトナツタノデアリマス、又既定ノ經費ニ付キマシテモ、能フ限りノ節約ヲ行ツタノデゴザイマス、歳出豫算ノ總額ハ之ヲ前年度豫算額ト比較致シマスルニ、既定經費ノ節約、新規經費ノ計上等ニ依ル増減ノ結果、前ニ申上ゲマシタ通り七億六千五百餘萬圓ヲ増加致シタノデアリマスガ、今其ノ増加額ノ内譯ヲ申述べテ見マス、各種ノ種類ニ分ケテ之ヲ申上ゲマシマスレバ、國債費ニ於キマシテ一億五千二百餘萬圓、年金及恩給ニ於テ三億二千四百餘萬圓、臨時軍事費特別會計ヘノ繰入ニ於テモ七千萬圓、地方分與稅分與金特別會計ヘノ繰入ニ於テ四千二百餘萬圓、其ノ他ニ於テ一億二千二百餘萬圓ト相成ルノデアリマス、既定經費ノ節約ニ關シマシテハ、現有財政力ノ遺漏ナキ活用ヲ圖リ、且戰時經濟運營ノ強化ニ資スル爲、其ノ緊要ナルヲ認メマシテ、鋭意詳細ナル檢討ヲ遂ゲマシテ能フ限りノ節減繰延ヲ行ヒマシタガ、

尙其ノ外陸海軍兩省所管ノ經費ニシテ、部隊、艦船ノ出征等ニ伴ヒ不用トナルベキモノ等モゴザイマシテ、結局昭和十六年度豫算ノ編成上ニ於ケル既定經費ノ減少額ハ、合計九億二千六百餘萬圓ニ及ンダノデアリマス、次ニ豫算ノ編成上、新規經費トシテ取扱ヒマシタル金額ヲ、種類ニ依ツテ之ヲ分チマスレバ、軍備ノ充實ニ關スル經費四億二千餘萬圓、軍人援護ニ關スル經費一億四百餘萬圓、科學ノ振興ニ關スル經費千餘萬圓、生産力ノ擴充ニ關スル經費二億千七百餘萬圓、經濟統制ニ關スル經費三千九百餘萬圓、貿易ノ振興ニ關スル經費千六百餘萬圓、海運ノ振興ニ關スル經費千二百餘萬圓、民間航空ノ振興ニ關スル經費二千餘萬圓等デアリマス、其ノ他時局ニ鑑ミマシテ、防空施設ノ擴充ニ要スル經費、滿洲開拓民ニ關スル經費、結核對策ニ關スル經費等ニ付キマシテモ、ソレトモ所要額ヲ計上致シマシタ、尙昭和十三年度以降ノ稅制改正ニ基ク增收額ト、昭和十三年一月以降ノ煙草値上其ノ他ニ依ル專賣局益金ノ増加額トノ合計額ノ中カラ、六億七千萬圓ヲ臨時軍事費特別會計ヘ繰入レルコトト致シテ居リマス、歳出ノ大體ヲ説明ハ以上ヲ以テ終リマシタ、次ニ歳入豫算ニ付テ説明致シマス、以上申述べマシタル所ノ歳出豫算ノ財源トナル歳入豫算ノ内譯ハ、租稅等ノ普通歳入八千餘萬圓ノ外、公債金收入十八億七千九百餘萬圓ヲ計上致シテゴザイマス、租稅等ノ

普通歳入ノ見積ニ付キマシテハ、主トシテ最近ノ實績等ヲ基礎トシ、之ニ各般ノ經濟事情、特ニ政府ノ財政經濟政策ニ基ク經濟界ノ推移動向ニ顧ミ、適正ナル斟酌増減ヲ加ヘマシテ、努メテ適實ナラムコトヲ期シタ次第デアリマス、右ノ普通歳入ハ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマスレバ、七億九千二百餘萬圓ノ増加トナリマスガ、是ハ主トシテ租稅收入ノ増加ニ依ルモノデアリマス、即チ租稅收入ハ經常臨時ノ各部ヲ合ハセマシテ、其ノ總額ハ三十六億九千餘萬圓デアリマシテ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマスレバ、五億二千六百餘萬圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、併シ此ノ内前年度稅制改正ニ基ク既定ノ増加ガ九千餘萬圓デゴザイマスカラ、差引自然增收トモ稱スベキモノニ屬スル分ハ、四億三千四百餘萬圓デアアルデアリマス、併シナガラ昭和十六年度租稅收入豫算額ヲ、之ヲ昭和十五年度ノ決算見込額三十五億五千餘萬圓ニ比較致シマスレバ、自然增收ノ如キハ殆ド之ヲ見積ラナカツタ計算トナルノデアリマス、而シテ租稅收入ノ成績ハ今次事變ノ勃發以來、數次ノ増稅ニ依ツテ國民ノ負擔ガ相當加重サレテ居ルニモ拘リマセズ、至極順調ナル經過ヲ辿ツテ居リマシテ、銃後國民ノ熱烈ナル愛國的精神ハ誠ニ感激ニ堪ヘナイ所デアリマス、租稅收入以外ノ普通歳入ノ増加ノ中、顯著ナルモノヲ二三申上ゲマス、印紙收入ノ増加ハ三千五百餘萬圓、森林收入ノ増加ハ四千二百餘萬圓、專賣局益金ノ増加ハ千百

餘萬圓、日本銀行納付金ノ増加ハ二千四百餘萬圓、政府出資特別會計ヨリ繰入ノ増加一億四千餘萬圓等デアリマス、又公債金收入ノ内譯ヲ發行公債ノ種類別ニ申シマスレバ、震災善後公債三百餘萬圓、道路公債千六百餘萬圓、歳入補填公債十八億五千九百餘萬圓、合計十八億七千九百餘萬圓トナルノデゴザイマス、以上ヲ以テマシテ一般會計ニ關スル説明ヲ大體終リマシタ、次ニ特別會計ノ豫算ニ移リマス、各特別會計豫算ニ於キマシテモ、ソレハ一般會計豫算ノ編成方針ニ準ジマシテ、銳意節約ヲ旨トシ、極力經費増嵩ノ抑制ヲ圖リマシタコトハ勿論デゴザイマス、併シナガラ朝鮮、臺灣、關東、樺太及南洋、各外地特別會計ニ於ケル歳入歳出ヲ、其ノ前年度豫算額ニ比較致シマスレバ、何レモ相當ノ増加ト相成ツテ居リマス、右ハ時局ノ進展ト共ニ、是等各外地ノ占ムル重要性ガ愈々増加シタルニ伴ヒマシテ、已ムヲ得ザル施設事項モ尠クナイノデゴザイマスカラ、此ノ程度ノ増加ノ結果ト相成リマシタコトハ已ムヲ得ナイ次第ト存ジマス、臨時軍事費特別會計ヘノ繰入ノ爲、各特別會計ニ於テ計上致シマシタ金額ハ、朝鮮總督府八千四百餘萬圓、臺灣總督府二千四百餘萬圓、關東局二千三百餘萬圓、樺太廳千餘萬圓、帝國鐵道六千餘萬圓、通信事業二千餘萬圓、合ハセマシテ二億二千三百餘萬圓デゴザイマシテ、之ヲ前年度ノ繰入額ニ比較致シマスト六千二百餘萬圓ノ増加ト相成ツテ居リマス、又特別會計ニ於ケル本年度ノ公債發行

行豫定額ハ、朝鮮總督府特別會計ニ於テ一億六千餘萬圓、臺灣總督府特別會計ニ於テ九百餘萬圓、帝國鐵道特別會計ニ於テ四千五百萬圓、通信事業特別會計ニ於テ千七百餘萬圓、政府出資特別會計ニ於テ二億八千五百餘萬圓合計五億千七百餘萬圓デゴザイマシテ、之ヲ前ニ申述ベマシタ一般會計ニ於ケル公債發行豫定額十八億七千九百餘萬圓ニ加ヘマスレバ、二十三億九千六百餘萬圓トナル計算デゴザイマス、臨時軍事費特別會計ニ付キマシテハ、過日歳入歳出共十億圓ノ臨時軍事費豫算追加臨第一號ヲ提出致シマシテ既ニ御協賛ヲ得タノデゴザイマスルガ、右ノ外、概シ本年四月以降ノ所要額ト致シマシテ、更ニ同ジク臨第二號ヲ以テ四十八億八千萬圓ノ追加額ヲ過日衆議院ニ提出致シタ次第デゴザイマス、昭和十六年度豫算ノ實行ニ付キマシテハ、其ノ我が經濟界ニ及シマスル所ノ影響ノ甚大ナルモノアルニ鑑ミマシテ、之ガ局ニ當ル者ハ深キ戒慎ヲ要スルモノト思ハレルノデアリマス、即チ前ニ申述ベマシタ如ク、茲ニ提出致シマシタ豫算ニ伴フ公債發行豫定額ハ二十三億九千六百餘萬圓デゴザイマスルガ、此ノ外ニ前申上ガマシタ臨時軍事費豫算追加臨第二號ニ伴フ所ノ公債發行額ヲ加ヘマスレバ、其ノ總額ハ相當多額ニ上ルノデゴザイマシテ、是ガ消化ハ産業資金ノ充實ト共ニ極メテ重要ナル問題ト存ジマス、之ニ對シマシテハ今後一層國民貯蓄ノ奨励ヲ徹底致シ資金ノ蓄積ニ努メマスルト同時ニ、各

種金融統制法令ノ運用ニ依リマシテ、民間資金ヲ公債消化其ノ他適切ナル投資方面ニ極力誘導致シマスル等、必要ナル方策ヲ講ジテ參ル心算デゴザイマス、尙是ト同時ニ、政府資金ノ撤布吸收等ニ付キマシテモ、更ニ按配宜シキヲ得ルヤウニ一段ノ工夫ヲ凝ラシマシテ、資金全體ノ需給調整ノ圓滑ヲ期スル方針デゴザイマス、又物資ニ對スル關係ニ付キマシテハ、物價其ノ他國民經濟生活ノ各方面ニ及ス影響ヲ考慮致シマシテ、我が國ニ於ケル物資供給力ト睨ミ合ハセテ、豫算執行ノ圓滑適正ヲ圖ル心算デゴザイマス、而シテ是等各般ノ施策ガ所期ノ效果ヲ擧ゲマスル爲ニハ、官民一致ノ努力ニ俟タネバナライコトハ勿論デゴザイマス、從ヒマシテ私ハ此ノ機會ニ於テ、國民ガ更ニ一層眞劍ナル協力ヲ惜シマレザラムコトヲ切望シテ已マナイ次第デゴザイマス、我が國ハ大東亞共榮圈確立ノ大業ニ向ッテ既ニ其ノ巨歩ヲ踏ミ出シタノデゴザイマス、滿洲及支那ニ於ケル經濟ノ開發ハ引續キ順調ナル進展ヲ示シ、日滿支間ノ經濟關係ハ益々緊密トナツテ參タノデゴザイマス、滿洲國ガ健全ナル發達ヲ見ツ、アルコトハ既ニ御承知ノ通りデゴザイマスガ、昨春南京ニ還都致シマシタ國民政府モ亦次第ニ其ノ基礎ヲ固メ、昨年十一月ニハ日華兩國間ノ條約締結ト同時ニ、日滿華三國間ノ正式國交方開始セラレ、相携ヘテ東亞ノ新秩序建設ニ邁進スルコトトナツタノデゴザイマス、併シナガラ我が國ガ此ノ變轉窮マリナキ國際政局

ノ裡ニ立チマシテ、敢然トシテ東亞ノ新秩序ヲ建設セムガ爲ニハ、單ニ日滿支ノ經濟提携ヲ圖ルノミデハ足ラナイノデゴザイマス、進ンデ其ノ經濟圈ノ擴充ヲ圖ラナケレバナラスノデゴザイマス、之ガ前途ハ眞ニ多事多難ト申スベキデアルト存ジマス、今ヤ全國國民ハ未曾有ノ難局ニ際會シ、不退轉ノ覺悟ヲ以テ此ノ重大ナル任務ノ完遂ニ精進致サネバナラスノデゴザイマシテ、不屈不撓ナル國民ノ精神力ト、強靱ナル我が國ノ經濟力トヲ以テ致シマスレバ、國運ノ進展ハ期シテ待ツベキモノアリト固ク信ジテ疑ハナイモノデゴザイマス、終リニ臨ミマシテ政府提出ノ豫算案ニ付キマシテハ、十分御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致ス次第デゴザイマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程ニ移リマス、日程第一、民事訴訟法中改正法律案、日程第二、陪審法中改正法律案、政府提出、第一讀會、是等ノ二案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、柳川司法大臣

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕

民事訴訟法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十六年一月二十九日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿
司法大臣 柳川 平助

民事訴訟法中改正法律案

民事訴訟法中左ノ通改正ス

第五百八十五條ノ二 執行裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ前條ノ裁判ヲ爲スコトヲ得

右裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六百六十二條ノ二 裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ本款ニ掲ケタル賣却條件ヲ變更スルコトヲ得

右裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ執達吏ヲシテ不動産ニ付キ必要ナル取調ヲ爲サシムルコトヲ得

第六百八十八條第四項中「買入代金」ノ下ニ「代金支拂期日ヨリ代金支拂マテノ利息」ヲ加ヘ同條第五項ヲ左ノ如ク改ム

再競賣ヲ爲ストキハ前ノ競落人ハ競買ニ加ハルコトヲ許サス且競買ノ保證ノ爲メ預ケタル金銭又ハ有價證券ノ返還ヲ求ムルコトヲ得ス

前ノ競落人ハ再度ノ競落代價カ最初ノ競落代價ヨリ低キトキハ不足ノ額及ヒ手續ノ費用ヲ負擔ス

第六百九十四條第二項ニ左ノ二號ヲ加フ

第三 第六百八十八條第四項ノ場合ニ於テハ代金支拂期日ヨリ代金支拂

マテノ利息

第四 第六百八十八條第五項ノ場合ニ於テハ前ノ競落人ヨリ競買ノ保證ノ爲メ預リタル金額

同條第四項中「最高競買價額」ヲ「競買」ニ改ム

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陪審法中改正法律案

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十六年一月二十九日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿
司法大臣 柳川 平助

陪審法中改正法律案

陪審法中左ノ通改正ス

第十七條第一項中「毎年」ヲ「四年毎」ニ改ム

第二十二條中「毎年九月一日迄ニ翌年所

要ノ」ヲ「陪審員資格者名簿ヲ調製スル年

ノ九月一日迄ニ其ノ翌年ヨリ四年間所要

ノ」ニ改ム

第二十八條中「其ノ年内」ヲ「其ノ陪審員候補者名簿調製ノ年ノ翌年ヨリ四年間」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

テ之ヲ行フ

本法施行ノ際現ニ效力ヲ有スル陪審員資格者名簿及陪審員候補者名簿ハ引續キ昭和十九年十二月三十一日迄ノ效力ヲ有ス

（國務大臣柳川平助君演壇ニ登ル）

○國務大臣（柳川平助君） 只今上程セラレ

マシタ民事訴訟法中改正法律案ノ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、今回ノ改正ハ、強制執行ニ於ケル競賣ヲ圓滑ニ行ハムトスル目

的ニ出ツルノデアリマシテ、平時ニ於テモ其ノ必要ヲ認メテ居ツタノデアリマスルガ、

事變以來特ニ其ノ必要性ヲ増大シマシタ

ノデ、茲ニ御審議ヲ仰グヤウニ相成ツタ譯デアリマス、改正ノ要點ハ二點デアリマス、

其ノ一ハ動産及不動産ノ競賣ニ於テ、競賣ノ方法又ハ其ノ條件ガ餘リニ畫一的デアリ

マス關係上、當事者ノ立場カラ申シマシテ

モ、將又廣ク國家的見地カラ申シマシテ

モ、妥當ヲ缺ク場合ガ少クナイノデ、之ヲ適當ニ調整セムトスルノデアリマス、即チ

裁判所ガ妥當ト認メマシタ場合ニハ、動産ノ競賣ニ付テハ、所謂難上競賣ノ方法ノ外ニ、

入札拂又ハ任意賣却等ノ適當ナル方法ヲ講

ジ、又不動産ノ競賣ニ於テハ、賣却條件ノ變更ヲ命ズルコトトシ、競賣手續ノ圓滑ヲ圖ル

コトトシタノデアリマス、其ノ二ハ、再競賣ノ弊害ヲ排除シ、且時局柄事務ノ簡捷ニ資

ニ入ルノデアリマスカラ、此ノ弊害ヲ防止

スル爲、遅延ノ場合ハ利息ヲ支拂ハシメ、再競賣實施ノ場合ハ常ニ保證ヲ沒收シ、何レモ之ヲ賣却代金中ニ繰入レルコトトシタ

ノデアリマス、尚以上ノ改正點ハ、競賣法ニ依ル競賣及船舶ノ競賣ニ準用セラレルノ

デアリマスカラ、本改正ニ依リ裁判所ノ關係スル一切ノ競賣ハ適當ニ是正セラレル譯

デアリマス、何卒慎重御審議ノ上、此ノ法案ノ通過ニ御盡力アラムコトヲ切望スル次第

デアリマス、次ニ陪審法中改正法律案ノ提案理由ヲ申述ベマス、現行陪審法ノ規定ニ依

レバ、陪審員資格者名簿及陪審員候補者名簿ハ、何レモ市町村長ガ毎年之ヲ調製スルコ

トトナツテ居リマスガ、本案ハ陪審法運用ノ實情ト現下市町村ノ事務ノ繁激ナルコトニ

鑑ミマシテ、陪審法ノ運用ニ支障ヲ生ゼザル範圍内ニ於テ、右名簿調製ノ手續ヲ簡易

化スル爲、之ヲ四年毎ニ調製スルコトニ改正セムトスルモノデアリマス、何卒慎重御

審議ノ上、御協賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 別ニ御質疑ガナケレバ、兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サ

セマス

（佐藤書記官朗讀）

民事訴訟法中改正法律案外一件特別委員

侯爵西郷吉之助君 子爵織田 信恒君
男爵小畑大太郎君 黒崎 定三君
男爵中御門經民君 岡田 文次君

竹下 豐次君 瀧川 儀作君
大谷 五平君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、河田大藏大臣

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十六年一月三十日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正ス

「百四十億七千四百二十萬圓」ヲ「百五十億七千八百八十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和十二年法律第八十四號ハ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ナリ

(國務大臣河田烈君演壇ニ登ル)

○國務大臣(河田烈君) 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致

シマス、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、第七十一回乃至第七十五回ノ各帝國議會ノ協贊ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデゴザリマスルガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費十億圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル處、其ノ所要財源中二百三十餘萬圓ニ付キマシテハ、北支事件特別稅收入等ヲ以チマシテ充當致シマシテ、差引キ九億九千七百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲ニ、本法律中公債ノ發行限度ヲ增加スルノ必要ガゴザイマス、仍テ改正案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、御審議ノ上速カニ御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ノ特別委員ノ數ヲ十八名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(佐藤書記官朗讀)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案特別委員

公爵徳川 家正君 侯爵小村 捷治君
伯爵後藤 一藏君 子爵清岡 長言君

子爵野村 益三君 子爵立花 種忠君
下條 康麿君 男爵今園 國貞君
男爵大藏 公望君 男爵水谷川忠麿君
有賀 光豐君 西野 元君
土方 久徵君 澁澤 金藏君
野村 徳七君 板谷 宮吉君
飯塚 知信君 諸橋久太郎君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月一日

委員長 公爵山縣 有道

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(公爵山縣有道君演壇ニ登ル)

○公爵山縣有道君 只今議題トナリマシタ商工會議所法第十四條ノ臨時特例ニ關スル法律案特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ去ル一月三十一日ニ付託致サレマシテ、二月一日ニ委員會ヲ開キ、先ヅ正副委員長ノ互選ヲ致シ、引續キ會議ヲ開キマシテ審査ヲ遂ゲタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、本案ガ稅制改

正ノ結果提案セラレタ關係上、大藏省ノ政府委員ノ出席ヲモ求メマシテ、質疑應答ヲ重ネタノデゴザイマス、而シテ本案ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲマス、商工會議所法第十四條ノ議員ノ選舉資格中、納稅ニ關スル條件ハ、從來「營業收益稅、取引所營業稅又ハ鑛產稅ヲ命令ノ定ムル額以上納ムルコト」トナツテ居リマシタ處、昨年ノ稅制ノ改革ニ伴ヒマシテ、「營業稅又ハ取引所特別稅ヲ命令ノ定ムル額以上納ムルコト」ト改正致サレタノデゴザイマスガ、現在ノ議員選舉資格中、營業稅等ノ決定シナイ關係カラ其ノ資格ヲ喪失スルニ至ル者ガ相當ノ數ニ上リ、從テ又會議所ノ經費賦課ヲ爲シ得サル爲、豫算ノ編成ニモ困難ヲ生ズル虞ガアリマスルノデ、是等ノ者ニ對シマシテハ、營業稅等ノ決定スル迄ハ尙舊稅ニ依ツテ選舉資格ヲ定メヨウト云フノデアリマス、今質疑應答ノ内容ヲ一ニ申上ゲマス、本案ニハ何故期限ヲ付スルコトガ出來スカトノ問ニ對シマシテ、大會社ノ營業稅ヲ決定スル場合等ニ於キマシテハ調査スベキ事項ガ複雑多デアル關係カラ相當遅レルモノモアリ、一律ニ期限ヲ付スルコトハ出來ナイトノ答辯デアリマシタ、又今回ノ稅制改革ニ依ル資格ヲ調査ガ完了スルト、有權者タル資格ニ餘程ノ變動アリヤト云フ問ニ對シマシテハ、稅法ノ形式ニ變更ガアルモ、商工會議所ガ經費ヲ賦課スル場合ノ條件等ニ於テ變リハアリマセヌノデ、内容的ニハ全然變更ハナイトノ答デアリマシタ、次ニ本案ノ施行

後開モナク議員ノ選舉ヲ行ハネバナラス會
議所等ニ對シマシテハ、如何ナル處置ヲ執
ルカト云フ問ニ對シマシテ、便宜上選舉期
日ヲ延期セシメテ事務上ノ支障ナキヤウニ
致シタイト云フ答辯ガアリマシタ、質疑ヲ
終リマシテ討論採決ノ結果、全會一致ヲ以
テ可決致シマシタノデゴザイマス、尙詳シ
イコトハ速記録ヲ御覽戴キ、以上簡單ナガ
ラ御報告ト致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二
讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通
リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ日程ヲ議
了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ、決定次
第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是
ニテ散會致シマス
午前十時五十三分散會

貴族院議事速記録第五號正誤

頁	段	行	誤	正
四七	二	一七	「エデーホ	「エヂンホ
〃	〃	一八	「エデー	「エヂン
五〇	二	一四	文字ヲ	文字用式ヲ

貴族院議事速記録第七號正誤

頁	段	行	誤	正
六〇	三	三三	二十一頁	十一頁

